



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 内山 和浩

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,713,365	16.8	76,996	58.8	86,394	35.2	41,862	25.1
25年3月期第2四半期	3,180,488	15.4	48,494	38.3	63,904	19.5	33,465	0.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 140,007百万円 (974.7%) 25年3月期第2四半期 13,026百万円 (△13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	119.27	119.14
25年3月期第2四半期	95.64	95.60

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,707,786	1,042,650	23.6
25年3月期	3,592,368	920,043	21.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 873,295百万円 25年3月期 760,175百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
26年3月期	—	23.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600,000	20.6	158,000	36.4	169,000	35.4	72,000	6.8	205.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	354,056,516 株	25年3月期	354,056,516 株
26年3月期2Q	2,892,675 株	25年3月期	3,268,023 株
26年3月期2Q	350,985,000 株	25年3月期2Q	349,911,546 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成25年11月1日(金)……アナリスト・機関投資家向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済環境を概観しますと、先進国を中心に全体として持ち直し基調が続きました。米国経済は、個人消費や住宅投資が底堅く推移し、欧州経済にも底打ちの兆しが見え始めました。一方、新興国経済は、中国経済の減速や、米国の金融緩和縮小観測に伴う資金流出で、停滞感が強くなりました。

こうした中、わが国経済は、金融・財政政策の効果により輸出や個人消費の回復が続き、企業業績の改善により設備投資も徐々に回復するなど、全体として上向きつつあります。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は新規連結会社及び円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を5,329億円（16.8%）上回る3兆7,133億円となりました。

これを事業本部別にみますと以下のとおりであります。なお、周辺環境の変化に対応するため、平成25年4月1日より一部の本部を改編し、また、生活産業・資材本部については名称を生活産業本部に変更しております。

金属本部は、鉄鋼分野では、海外自動車生産増加に応えるため事業会社の能力増強に取り組みました。非鉄金属分野では、引き続きレアアースの生産に向けて取り組みました。鉄鋼原料分野では、グループ会社とともに顧客サービス向上を図りました。売上高については、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を291億円（3.4%）上回る8,922億円となりました。

グローバル生産部品・ロジスティクス本部では、インドネシア最大の自動車部品メーカーであるPT Astra Otoparts Tbkに出資し、同国における自動車関連事業の更なる拡大・強化を図りました。また、ロシアの自動車市場で現地調達化に対応するため、株式会社ミツバとトルコのTeklas Corporationとともに自動車用フロントワイパーの製造会社を設立しました。売上高については、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を277億円（6.7%）上回る4,417億円となりました。

自動車本部では、日本国内における輸入車販売事業の強化のため、0-RUSHインターナショナル株式会社の中古車販売網を拡大しました。また、ケニアでの日野自動車株式会社のトラック現地組み立てを開始するとともに、拠点を新設し、販売・サービスを開始しました。更に、海外販売ネットワークをより強固なものにするため、ロシアとアフリカで拠点網を拡充しました。売上高については、新規連結会社の影響及び海外の自動車販売増加により、前年同四半期連結累計期間を2,389億円（59.1%）上回る6,434億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部では、株式会社エネ・ビジョンが、森林資源の有効活用による、森林環境の改善及び再生可能エネルギーの普及促進を図るため、島根県にて木質バイオマス発電事業に参入しました。また、米国北東部の電力安定供給に貢献するため、Competitive Power Ventures Holdings, LLC及びArcLight Capital Partners, LLCとともに、米国ニュージャージー州で天然ガス焚き火力発電所の建設・運営に参画しました。売上高については、自動車関連設備の取り扱い増加により、前年同四半期連結累計期間を561億円（9.0%）上回る6,804億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、マレーシアのリサイクル樹脂コンパウンド会社であるMetro Wealth Polymer Sdn Bhdに出資し、現在取り組み中のバイオ樹脂とともに、環境に優しい樹脂材料への更なる取り組み強化を図りました。また、紙おむつ需要の拡大に対応するため、三洋化成工業株式会社の連結子会社で高吸水性樹脂製造・販売を営むサンダイヤポリマー株式会社に出資、商号をSDPグローバル株式会社に変更し、新合弁会社をスタートしました。売上高については、主に新規連結会社の影響により、前年同四半期連結累計期間を1,564億円（24.0%）上回る8,086億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、豪州の穀物集荷・輸出事業会社の機能を活用して、日本及び東南アジア諸国への豪州産穀物の販売拡大に取り組みました。食品分野では、株式会社Jーオイルミルズ及びインドのRuchi Soya Industries Limitedと共同で、高付加価値植物油の製造会社を設立することで合意しました。売上高については、新規連結会社の影響により、前年同四半期連結累計期間を271億円（19.5%）上回る1,662億円となりました。

生活産業本部は、リビング&ヘルスケア分野では、ウェルフェア2013及び国際福祉機器展において福祉・介護分野における取り組みを紹介し、販売先の拡大に努めました。保険分野では、顧客サービス向上等のため、豊通保険カスタマーセンター株式会社と豊通ファミリーライフ株式会社を統合し、新たに国内トップクラスの保険代理店となる豊通保険パートナーズ株式会社を発足させました。売上高については、ライフスタイル分野にて事業の選択と集中を進めた結果、前年同四半期連結累計期間を20億円（2.5%）下回る792億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の増加等により769億96百万円となり、前年同四半期連結累計期間（484億94百万円）を285億2百万円（58.8%）上回りました。経常利益は863億94百万円となり、前年同四半期連結累計期間（639億4百万円）を224億90百万円（35.2%）上回りました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間（334億65百万円）を83億97百万円（25.1%）上回る418億62百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産につきましては、現金及び預金で487億円減少した一方で、投資有価証券で525億円、有形固定資産で323億円、たな卸資産で256億円増加となり、前連結会計年度末に比べ1,154億円増加の3兆7,077億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で313億円、その他有価証券評価差額金で245億円、為替換算調整勘定で542億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ1,226億円増加の1兆426億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、経済情勢の変化に合わせて為替レート等前提条件の見直しを行い、また、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成25年4月26日発表の連結業績予想から変更しております。売上高は前回予想を1,000億円（1.3%）上回る7兆6,000億円、営業利益は前回予想を30億円（1.9%）上回る1,580億円、経常利益は前回予想を70億円（4.3%）上回る1,690億円となり、税引後の当期純利益は前回予想を10億円（1.4%）上回る720億円となる見込みです。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	391,409	342,758
受取手形及び売掛金	1,106,604	1,128,169
たな卸資産	593,155	618,702
その他	220,902	226,096
貸倒引当金	△17,920	△19,496
流動資産合計	2,294,151	2,296,230
固定資産		
有形固定資産	445,370	477,634
無形固定資産		
のれん	256,957	260,431
その他	107,771	116,799
無形固定資産合計	364,729	377,231
投資その他の資産		
投資有価証券	386,026	438,559
その他	119,131	134,279
貸倒引当金	△17,040	△16,148
投資その他の資産合計	488,117	556,690
固定資産合計	1,298,216	1,411,556
資産合計	3,592,368	3,707,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,595	844,535
短期借入金	420,602	467,877
未払法人税等	30,153	24,562
引当金	1,134	1,152
その他	436,587	409,367
流動負債合計	1,765,072	1,747,494
固定負債		
社債	65,000	65,000
長期借入金	727,244	727,441
引当金	28,302	29,130
その他	86,704	96,069
固定負債合計	907,251	917,641
負債合計	2,672,324	2,665,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,539	154,715
利益剰余金	531,049	562,365
自己株式	△5,345	△4,725
株主資本合計	745,179	777,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,637	69,170
繰延ヘッジ損益	△9,710	△7,519
為替換算調整勘定	△19,931	34,352
その他の包括利益累計額合計	14,996	96,003
新株予約権	951	436
少数株主持分	158,916	168,918
純資産合計	920,043	1,042,650
負債純資産合計	3,592,368	3,707,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,180,488	3,713,365
売上原価	2,993,413	3,432,648
売上総利益	187,075	280,716
販売費及び一般管理費	138,580	203,720
営業利益	48,494	76,996
営業外収益		
受取利息	1,836	1,979
受取配当金	8,435	11,601
持分法による投資利益	10,196	10,697
雑収入	7,499	6,841
営業外収益合計	27,968	31,119
営業外費用		
支払利息	8,849	12,243
為替差損	—	7,182
雑支出	3,710	2,295
営業外費用合計	12,559	21,721
経常利益	63,904	86,394
特別利益		
固定資産売却益	432	476
投資有価証券及び出資金売却益	914	1,106
債務保証損失引当金戻入額	159	—
事業撤退損失引当金戻入額	467	12
損害補償損失引当金戻入額	1,024	—
契約損失引当金戻入額	289	—
段階取得に係る差益	2,330	—
新株予約権戻入益	73	359
受取保険金	154	—
特別利益合計	5,845	1,955
特別損失		
固定資産処分損	598	363
投資有価証券及び出資金売却損	129	72
投資有価証券及び出資金評価損	3,375	343
契約変更に伴う精算金	4,908	—
その他	36	51
特別損失合計	9,047	830
税金等調整前四半期純利益	60,701	87,519
法人税等	21,118	32,438
少数株主損益調整前四半期純利益	39,583	55,081
少数株主利益	6,117	13,218
四半期純利益	33,465	41,862



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,583	55,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,556	23,687
繰延ヘッジ損益	△791	2,292
為替換算調整勘定	△15,849	51,223
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,359	7,723
その他の包括利益合計	△26,556	84,926
四半期包括利益	13,026	140,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,169	122,952
少数株主に係る四半期包括利益	4,857	17,054

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	863,142	414,029	404,582	624,339	652,227	139,171	81,230	3,178,723	1,765	3,180,488	—	3,180,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	66	2,713	0	1,404	2,912	64	1,104	8,265	237	8,503	△8,503	—
計	863,208	416,743	404,582	625,744	655,139	139,235	82,334	3,186,988	2,003	3,188,991	△8,503	3,180,488
セグメント利益又は損失(△)	15,233	10,001	17,051	△3,479	7,079	133	4,252	50,273	△1,777	48,495	△1	48,494

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	892,203	441,737	643,495	680,484	808,614	166,277	79,230	3,712,043	1,321	3,713,365	—	3,713,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	332	1,641	43	206	2,573	57	329	5,183	264	5,447	△5,447	—
計	892,535	443,378	643,539	680,690	811,187	166,334	79,560	3,717,226	1,585	3,718,812	△5,447	3,713,365
セグメント利益又は損失(△)	20,964	12,286	22,474	8,781	11,606	2,201	2,994	81,309	△4,345	76,964	32	76,996

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の生活産業・資材の区分に属していた自動車内装用資材・部品等については、所属する区分をグローバル生産部品・ロジスティクスに変更しております。また、生活産業・資材の区分については名称を生活産業に変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントを変更後の報告セグメントの区分方法により組み替えて表示しております。

2014年3月期第2四半期連結決算概要

2013年10月31日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q
売上高	18,964	18,168
営業利益	409	360
経常利益	460	403
四半期純利益	217	200

連結経営成績	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	37,133	31,804	5,329	16.8%
売上総利益	2,807	1,870	937	50.1%
販売費及び一般管理費	2,037	1,385	652	—
営業利益	769	484	285	58.8%
利息収支	▲102	▲70	▲32	—
受取配当金	116	84	32	—
持分法による投資損益	106	101	5	—
その他	▲26	37	▲63	—
経常利益	863	639	224	35.2%
特別損益	11	▲32	43	—
税金等調整前 四半期純利益	875	607	268	44.2%
法人税等	324	211	113	—
少数株主利益	132	61	71	—
四半期純利益	418	334	84	25.1%

主な増減要因
<b>【売上高】+5,329億円</b> 新規連結子会社及び円安による為替影響により自動車本部を中心に増加
<b>【売上総利益】+937億円</b> 売上高の増加による
<b>【販売費及び一般管理費】+652億円</b> 新規連結子会社の影響等により増加
<b>【利息収支】▲32億円</b> 新規連結子会社の影響等により減少
<b>【受取配当金】+32億円</b> 主に単体の増加による
<b>【その他営業外損益】▲63億円</b> 主に為替差損益の悪化
<b>【特別損益】+43億円</b> 主に前期契約変更に伴う精算金の影響により増加

商品本別 連結売上高・営業利益	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
金 属	8,922	8,631	291	859	▲568	▲6.0%
グローバル生産部品・ ロジスティクス	209	152	57	27	30	17.1%
自動車	4,417	4,140	277	807	▲530	▲10.7%
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	122	100	22	18	4	3.9%
化学品・ エレクトロニクス	6,434	4,045	2,389	567	1,822	39.5%
食 料	224	170	54	28	26	12.9%
生活産業	6,804	6,243	561	401	160	2.4%
合 計	87	▲34	121	2	119	—
	8,086	6,522	1,564	476	1,088	15.5%
	116	70	46	9	37	45.1%
	1,662	1,391	271	111	160	10.6%
	22	1	21	1	20	926.3%
	792	812	▲20	28	▲48	▲5.7%
	29	42	▲13	0	▲13	▲30.2%
	37,133	31,804	5,329	3,251	2,078	5.9%
	769	484	285	82	203	35.8%

主な増減要因
<b>【売上高】</b> 市況の下落及び自動車生産台数の減少により減収 <b>【営業利益】</b> 営業外為替差損との入繰りによる影響
<b>【売上高】</b> 中国自動車生産台数の減少により減収 <b>【営業利益】</b> 営業外為替差損との入繰りによる影響
<b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響により増収増益
<b>【売上高】</b> 自動車関連設備の取扱い増加により増収 <b>【営業利益】</b> 風力発電子会社の利益増加により増益
<b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響により増収増益
<b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響により増収増益
<b>【売上高・営業利益】</b> 繊維関連取扱い減少により減収減益

\* 2013年4月1日より一部の本部を改編し、また、生活産業・資材本部については名称を生活産業本部に変更しております。これに伴い、前年同期及び前期実績数値につきましては、変更後の事業区分により組み替えて記載しております。

連結財政状態	第2四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	37,077	35,923	1,154	3.2%
(流動資産)	22,962	22,941	21	0.1%
(投資有価証券・出資金)	4,913	4,289	624	14.5%
(その他の固定資産)	9,202	8,692	510	5.9%
純資産	10,426	9,200	1,226	13.3%
有利子負債(NET)	10,922	9,986	936	9.4%
D E R (NET)	1.3	1.3	▲0.0	—

主な増減要因
<b>【流動資産】+21億円</b> ・現金の減少 ▲487億円 ・売上債権の増加 +215億円 ・たな卸資産の増加 +256億円
<b>【投資有価証券・出資金】+624億円</b> ・主に時価の上昇及び株式取得による増加
<b>【その他の固定資産】+510億円</b> ・有形固定資産の増加 +323億円 ・無形固定資産の増加 +125億円
<b>【純資産】+1,226億円</b> ・利益剰余金 +313億円 (四半期純利益 +418億円、配当金 ▲77億円等) ・有価証券評価差額金 +245億円 ・為替換算調整勘定 +542億円

連結業績予想	(修正) 当期予想	前期実績	前期比		(参考)4/26公表 当期予想
			増減額	増減率(%)	
金 属	19,400	16,941	2,459	14.5%	19,400
グローバル生産部品・ ロジスティクス	435	362	73	19.9%	415
自動車	9,000	7,908	1,092	13.8%	8,900
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	230	197	33	16.4%	200
化学品・ エレクトロニクス	13,100	7,819	5,281	67.5%	12,700
食 料	430	312	118	37.8%	470
生活産業	12,400	12,534	▲134	▲1.1%	11,800
合 計	200	104	96	91.2%	170
	16,600	13,248	3,352	25.3%	16,500
	240	104	136	130.0%	230
	3,800	2,902	898	30.9%	4,000
	70	25	45	174.9%	80
	1,650	1,658	▲8	▲0.5%	1,700
	75	89	▲14	▲15.8%	85
全社	76,000	63,043	12,957	20.6%	75,000
売上高	1,580	1,158	422	36.4%	1,550
営業利益	1,690	1,248	442	35.4%	1,620
経常利益	720	674	46	6.8%	710
当期純利益					

1株当たり配当金	当期 (予想)	前期
中間	23円	22円
年間	46円	44円
配当性向(連結)	22.4%	22.8%

  

主要指標推移	第2四半期 累計期間	前年同期 (前期末)
為替(円/米ドル)	平均 99	79
	期末 98	(94)
金利	円TIBOR3M平均 0.23%	0.33%
	米ドルLIBOR3M平均 0.27%	0.45%
トハイ原油(米ドル/bbl)	104	107
豪州一般炭(米ドル/トン)	82	93
シカゴコーン(セント/Bushel)	587	698